

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成31年1月10日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	書店における照明設備の更新による省エネルギー事業(LED化)
承認番号	KC1226
排出削減事業者名	株式会社三洋堂書店
排出削減共同実施事業者名	丸紅株式会社 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	○小牧東店 (愛知県小牧市応時2 丁目215 番地) ○ひしの店 (愛知県瀬戸市東赤重町1 丁目107 番地) ○領下店 (岐阜県岐阜市領下4 丁目94 番地) ○大野店 (岐阜県揖斐郡大野町大字黒野字東小奈良57-1) ○新大垣店 (岐阜県大垣市林町7 丁目1072 番地1) ○新関店 (岐阜県関市小瀬字東長池2660) ○多治見南店 (岐阜県多治見市大畑町赤松98-10) ○高富店 (岐阜県山県市高富2405) ○富田店 (三重県四日市市茂福680 番地) ○岬店 (千葉県いすみ市岬町大字江場土字関内1863 ミサキショッピング ガーデン内)

- 猪高車庫南店
(愛知県名古屋市名東区よもぎ台1-704)
- 青洲店
(愛知県清須市西市場5 丁目5 番地1)
- 高浜店
(愛知県高浜市沢渡町1 丁目2 番地9)
- 香久山店
(愛知県日進市岩崎台1 丁目1222 番地)
- 半田店
(愛知県半田市宮本町6 丁目202 番地11)
- 穂積店
(岐阜県瑞穂市馬場上光町3 丁目1)
- 本巣店
(岐阜県本巣市文殊字天辺1006-1)
- 北勢店
(三重県いなべ市北勢町阿下喜3326)
- 桑名店
(三重県桑名市大字東方字福島前764 番地)
- 精華店
(京都府相楽郡精華町精華台3 丁目12 番地4)
- 平群店
(奈良県生駒郡平群町大字三里728 番地の1)
- 上前津店
(愛知県名古屋市中区大須3-10-16)
- 鳥居松店
(愛知県春日井市鳥居松町3 丁目79 番地)
- 新恵那店
(岐阜県恵那市長島町正家932 番地の1)
- 南濃店
(岐阜県海津市南濃町吉田712 番地1)
- 各務ヶ原店
(岐阜県各務原市蘇原花園町3 丁目52 番地)
- 大和店
(岐阜県郡上市大和町徳永828 番地の1)
- 星川店
(三重県桑名市大字星川字十二899 番地)

	<p>○サーキット通り店 （三重県鈴鹿市稻生4 丁目1-1）</p> <p>○近江八幡店 （滋賀県近江八幡市鷹飼町北2 丁目3 番4）</p> <p>○八日市店 （滋賀県東近江市東中野町4 番23 号）</p>
事業の概要	<p>書店31 店舗において、従来の照明設備（直管型蛍光灯）をより消費電力の少ないLED照明（HansolLighting ルミナージュ・チューブ・トップ）へ更新することで、電力消費量を削減し、エネルギー効率を改善する。</p>
排出削減量の計画	<p>【限界電源CO2排出係数使用の場合】</p> <p>2011年度： 292tCO2</p> <p>2012年度： 1,745tCO2</p> <p>2013年度： 1,830tCO2</p> <p>2014年度： 1,790tCO2</p> <p>2015年度： 1,720tCO2</p> <p>2016年度： 1,667tCO2</p> <p>2017年度： 1,667tCO2</p> <p>2018年度： 1,667tCO2</p> <p>2019年度： 1,398tCO2</p> <p>（事業実施期間合計 13,776tCO2）</p> <p>【全電源CO2排出係数使用の場合】</p> <p>2011年度： 227tCO2</p> <p>2012年度： 1,386tCO2</p> <p>2013年度： 1,842tCO2</p> <p>2014年度： 1,790tCO2</p> <p>2015年度： 1,720tCO2</p> <p>2016年度： 1,667tCO2</p> <p>2017年度： 1,667tCO2</p> <p>2018年度： 1,667tCO2</p> <p>2019年度： 1,398tCO2</p> <p>（事業実施期間合計 13,364tCO2）</p>
クレジット認証期間	<p>開始日 2012年2月1日</p> <p>終了予定日 2020年1月31日</p>
排出削減方法論	<p>方法論番号006: 照明設備の更新</p>

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日 ～ 2018年9月30日（第2回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	8,619CO ₂ (2013年4月1日 ～ 2018年9月30日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 31店舗の営業時間、営業日数の集計データ及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。□
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 31店舗の営業時間、営業日数の集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 店舗の営業時間の変更は、決裁書(HD・書店)により執行役員会の承認を受けており、それが集計データに反映されていることを確認した。また、排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。

	<p>3) 単位発熱量、排出係数等の確認 電力の集計データ及び、事業者へのヒアリング並びに J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.2等により、排出削減量の算定式及び使用されている電力の排出係数は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果を店舗ごとの営業時間・照明設備の種類の突合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果に誤りはないことを確認した。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は 2013年 4 月1日から 2018年9 月30日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2020年 1月31日となっているため、クレジット認証期間の終了日を超えないことを確認した。□</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画から、本モニタリング期間中排出削減事業を実施するうちの複数の店舗が閉店となっていた。

また、現地確認時に以下の事例が発見された。

- Jクレジット制度におけるサンプリング数の評価式より算定されたサンプリング数をカバーできるようにサンプリング対象とした訪問3店舗で、計画と異なり当初からLED化されていない、ランプが間引きされているという事例が散見された。
- バックスペース(倉庫、荷受け、休憩室等)等で人感センサーが設置されていた。また、店長室、電気室、物置等常時消灯されている部分が削減計画に含まれていた。

上記事例は、削減量が過大に算定されている可能性が高いことから、改めて、対象31店舗の設備の種類と数を確認し、排出削減実績報告書を作成した。ベースラインおよび事業実施後とも照明の本数の変更が生じている。

これらの変更をベースライン排出量やプロジェクト排出量の算定に反映させたが、これらの変更は削減量算定に関する方法論の適用条件に影響を与えるものではないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として160,224.3GJ、原油換算 4,133.8kLであることを確認した。

以上